

「劇礼拝」の試み — 米子伝道所

やまもと きよし
山本 清 (米子伝道所 牧師)

はじめに

米子伝道所では、クリスマスやイースターの持ち方を模索する中で、子供と大人と一緒に礼拝できる形として「劇礼拝」の試みを行いましたので紹介させていただきます。

1. 経 緯

- 従来は、クリスマスやイースターの諸行事を、ほぼ次のような形で持って来ました。
 - <クリスマス> 子 供:親子クリスマス(キャンドル・サービス付き)+(日曜学校)クリスマス礼拝
*プレゼントは親子クリスマスでも(サンタクロース)、クリスマス礼拝でも。
 - 大 人:クリスマス礼拝+(午後)クリスマス祝会(楽器演奏など)
 - <イースター> 子 供:春休みこどもかい(たまごづくりを含む)+(日曜学校)イースター礼拝
 - 大 人:復活節礼拝+(午後)祝会
- 2008年のクリスマスでは、子供と大人の合同礼拝を行ないました。
 - 一礼拝の中で、初めに大人と同じテキストで子供向けの「小説教」を行い、子供が別室へ退場後、大人むけの説教を行い、献金のところで、子供たちが戻ってくる。
 - 一別室では一部の大人が子供に読み聞かせやゲームを行う。(※一部の大人は大人向けの説教を聞けない)
 - 一礼拝後、昼食からは、子供も大人も一緒に祝会(楽器演奏など)
 - 一別の日に親子クリスマスも行った。
- 2010年のクリスマスでは、親子クリスマスを従来どおりに行う一方、子供と大人の合同礼拝を行ない、説教は子供にも分かるやさしいものだけにしました。
- 2011年のクリスマスでは、親子クリスマスを従来どおりに行う一方、クリスマス合同礼拝を行ない、説教は絵本を使って、子供にも分かる説教をしました。(別に大人向けの説教はしない)。
- 2012年のクリスマスでは、親子クリスマスを従来どおりに行う一方、クリスマス合同礼拝を行ない、全体を全員参加の劇礼拝として台本に従って行いました。礼拝後に全員で祝会をしました。
 - 一台本は絵本「しあわせなロバ」(藤本四郎作・新教出版社)を題材にして独自に作成(後掲)。
 - 一初めて来た子供や大人も、場面の説明をしながら、劇に参加。
 - 一メッセージ(説教)も劇礼拝の中に組み込んだ。
- 2013年のイースターでは、イースター合同礼拝を行ない、全体を人形劇礼拝として、台本に従って行いました。ただし、人形劇を演じたのは一部の大人と子供です。(台本「復活のイエスとペトロ」)
 - 一メッセージ(説教)は人形劇の中に組み込んだ。
- 2013年のクリスマス礼拝では、親子クリスマスをやめて、クリスマス合同礼拝+祝会に集中しました。合同礼拝はブラックシアター礼拝として、創作台本「おくれてやってきた羊飼いと博士」に従って、行いました。
 - 一礼拝室を暗幕で真っ暗にし、フランネルボードに貼るペープサート方式の人物や背景を、ブラックライトで照らす。陶芸教室で作成したキャンドル・ライトを両側の窓際に配置。
 - 一台詞はあらかじめ録音しておき、台詞に合わせて人物を動かす。
 - 一プレゼントはこの集会に一本化。

2. 劇礼拝の紹介

上に述べました経緯のうち、2012年のクリスマス合同礼拝で試みた「劇礼拝」の台本と礼拝の様子（写真）をご紹介します。

この劇礼拝は、大人と子供が始めから終わりまで一体になった礼拝ができないかということを探索する中で、試みたものです。合同礼拝の中に劇を組み込んだ礼拝全体の台本を作成し、礼拝出席者全員がその台本に従って礼拝を進めました。礼拝の中の劇の部分にも、大人も子供も全員が参加しました。劇の部分については、前日の土曜日に行った「親子クリスマス」の中で予行演習をいたしました。しかし、全員が予行演習に参加できるわけではなく、当日のみの出席者もありますので、礼拝の開始前に配役を決め、概要を説明し、また劇の進行の途中で、場面ごとに若干の説明を加えながら進めました。台詞は暗記するのは無理なので、あらかじめ録音しておき、それに合わせて演じるようにしました。

劇礼拝台本、『しあわせなロバ』

2012年12月23日（日）上演

*この台本の物語は、絵本「しあわせなろば」（絵と文：藤本四郎、新教出版社発行）を参考にした。

【登場人物】 配役は主な人物はあらかじめ決めておき、その他は当日の開始前に決める。

- ・ナレーター
- ・ラビン（ロバ）
- ・クレバーさん
- ・ラビンの母
- ・馬
- ・牛
- ・山羊
- ・豚
- ・アヒル
- ・にわとり
- ・動物1
- ・動物2
- ・動物3
- ・皇帝の使い
- ・町の人々
- ・ヨセフ
- ・マリア
- ・天使1
- ・天使2
- ・ほかの天使
- ・羊飼いの1
- ・羊飼いの2
- ・ほかの羊飼いの
- ・羊たち
- ・星

【会場の設営】 会堂の礼拝室と和室を連続して使用。

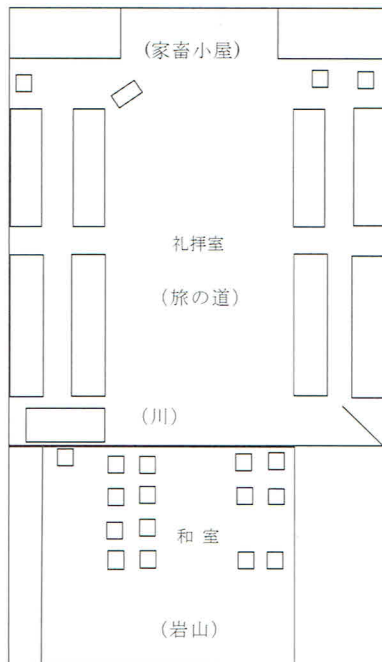
- ・座席は礼拝室の長椅子を向い合せて配置。
 - ・正面と中央の広場が舞台となる。
 - ・正面に家畜小屋（クレバーさんの家畜小屋とベツレヘムの家畜小屋を兼用）。
 - ・後部和室は補助椅子を配置。
- その間は、旅の途中の舞台に使用。

【大道具】

- ・家畜小屋
- ・岩山の背景（和室）
- ・川

【小道具】

- ・ロバの背と足（キャスター付き）
- ・クレバー牧場と宿屋の標識
- ・皇帝の命令書（巻物）
- ・星（棒の先に大きな星）
- ・羊飼いの杖（数本）
- ・飼葉桶と赤子（人形）
- ・各登場人物の衣装と御面



プロローグ (劇に入る前)

- (・幕の内側に家畜小屋が設置されている。)
- (・一同、衣装をつけて席につく。)
- (・幕は閉じられたまま、礼拝が始まる。)
- (・鐘が7つ鳴って、司式者が説教台の前へ。)

(讚美歌94)

(奏樂者)

(司式者)

良い知らせをエルサレムに伝える者よ。
 声をあげよ、恐れるな／ユダの町々に告げよ。
 見よ、あなたたちの神／見よ、主なる神。

(イザヤ書40:9 b - 10a)

ぜん 奏
前 詞
招さん び
び か
讀美歌

94 (1, 2) ひさしくまちにし
 (楽譜・歌詞省略)

(一同起立)

こう ぶん
どう ぶん
交読文

(ルカによる福音書1:47-55)

(一同起立)

し
司式

わたしの魂は主をあがめ

かい
衆

わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。

司式

身分の低い、この主のはしためにも 目を留めてくださったからです。

かい
衆

今から後、いつの世の人も、わたしを幸いな者というでしょう。

司式

力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。

かい
衆

その御名は尊く、その憐れみは代々に限りなく、主を畏れる者に及びます。

司式

主はその腕で力を振るい、

かい
衆

思い上がる者を打ち散らし、

司式

権力ある者をその座から引き降ろし、

かい
衆

身分の低い者を高く上げ、

司式

飢えた人を良い物で満たし、

かい
衆

富める者を空腹のまま追返されます。

司式

その僕イスラエルを受け入れて、

かい
衆

憐れみをお忘れになりません。

一
同

わたしたちの先祖におっしゃったとおり、アブラハムとその子孫に対してとこしえに。

せい しょ
聖書

ルカによる福音書2:1-20
 (聖句 省略)

(司式者)

さん び
び か
讀美歌

95 (1, 2) わが心は
 (楽譜・歌詞省略)

(一同起立)

しょ げん
序言

(説教者)

クリスマスおめでとうございます。

今日のクリスマス礼拝では、私のお話の最初に、皆さままで一つの劇を演じていただくことにしました。その劇の題は「しあわせなロバ」といいます。

ラビンという名の一頭のロバが、イエスさまのお誕生のために、大切な働きをしたというお話です。では、劇を始めましょう。

第1場 【救い主誕生の予告】

(・幕が開く。クレーバーさんの家畜小屋の場面。中央にラビンと母親のロバ。)

ナレーター むかし、ユダヤのくにのナザレという村で、一頭のロバの子が生まれました。ロバの子の名前はラビン。ラビンは クレーバーさんの牧場で、すくすくと育ちました。ラビンは心のやさしい子でした。

(・馬、牛、羊、ヤギ、豚、アヒル、にわとり 登場。)

ナレーター ラビンは なにををするにも ほかの動物よりゆっくりしていました。牧場の馬、牛、羊、ヤギ、豚、アヒル、鶏などは、そんなラビンを「のろま」とよんで、笑いました。

(・ラビン、母ロバのそばへ。 ・ほかの動物はさがる。)

ナレーター ラビンは悲しくなるとお母さんのそばで過ごしました。

お母さんはそんなとき、昔から伝わるお話を聞かせてくれました。

ラビンの母 もうすぐ神さまの子がお生まれになるの。そのかたは、子供や貧しい人、病気の人、さびしい人の友だちになってくださるの。わたしたちの救い主なのよ。

ラビン いつなの？ ほく、その人に会いたいなあ。

第2場 【皇帝の命令】

(・家畜小屋の前の広場の場面。町の人々がいる。)

(・奥(和室)の方から、総督の使いがやって来る。手には巻物を持っている。)

ナレーター やがてラビンは大きくなり、やさしくて力の強いロバになりました。

ナレーター そのころ、ユダヤの国では、ローマの皇帝の命令が出されました。

皇帝の使い 皆のもの、このたびローマの皇帝から命令が出された。よく聞け。「人々は皆、自分の生まれた町へ行って名前を届けること。これを守らない者があれば、逮捕して牢屋に入れられる。」

(・皇帝の使い、町の人々はさがる。)

ナレーター 生まれた町から離れたところに住んでいる人も、生まれた町まで行って、名前を届けなければならぬのです。遠くに住んでいる人はたいへんですね。

(・ヨセフが奥(和室)の方からやって来る。)

ナレーター ある日、一人の人がクレーバーさんの家畜小屋にやって来ました。その人の名はヨセフさん。

ヨセフ 力があって やさしいロバはいませんか？ お腹に赤ちゃんがいるマリアを乗せて、遠いベツレヘムに名前を届けに行かなくてはなりません。

(・クレーバーさんがラビンを連れて来る。)

ナレーター クレーバーさんがラビンを連れてくると、ヨセフさんは、一目でラビンを気に入りました。

- 動物1 イエスさまのお誕生^{たんじょう} おめでとう。
 動物2 ラビン君、長い旅、ご苦労さま。
 動物3 君は本当にしあわせ者^{もの}だね。
 ナレーター ラビンはうれしくて何度も何度もなぞきました。
 (・一同、席に戻る。)

讃美歌 112 (1, 3, 4, 5) もろびとこぞりて (一同起立)
 (楽譜・歌詞省略)

〔メッセージ〕

メッセージ 「しあわせなロバ」 (説教者)
 (要 旨)

ロバのラビンは、ほかの動物から「のろま」と呼ばれて、笑いものにされていました。ところが、イエスさまを身ごもったマリアさんを運ぶことで、思いがけず、イエスさまのお役に立つことができました。そして、救い主イエスさまのお誕生を、羊飼いたちや、ほかの動物たちといっしょに、心からお祝いすることができました。

皆さんも、今日は、「しあわせなロバ」の劇に参加して、それぞれの役をしました。一人ひとりのしたことは小さなことでしたが、大人も子供も、みんなでイエスさまのお誕生をお喜びするという、大きなことが出来ました。

私たち一人ひとりには小さな力しかありません。でも、神さまは、そんな私たちを使って、神さまのお役に立つ大きな働きをさせてくださるのです。

讃美歌 365 (1, 2, 3) わが主イエスよ (一同起立)
 (楽譜・歌詞省略)

信仰告白 日本キリスト教会信仰の告白 (口語文) (一同起立)
 (申告白文省略)

聖餐式 司 式 山本 清牧師

讃美歌 206 (一同起立)
 (楽譜・歌詞省略)

公 告 (司式者)

献 金 (一同起立)

主の祈り (主の祈りの言葉省略)

頌 栄 542 (一同起立)
 (楽譜・歌詞省略)

劇礼拝の様子



礼拝開始前の説明と配役



高齢者も劇に参加の準備



ロバの子ラビンと母親



皇帝の命令



ヨセフがラビンを気に入る



ベツレヘムへの旅



イエスの誕生 (讚美)



羊飼いたち馬小屋へ向かう



羊飼いたちの訪問